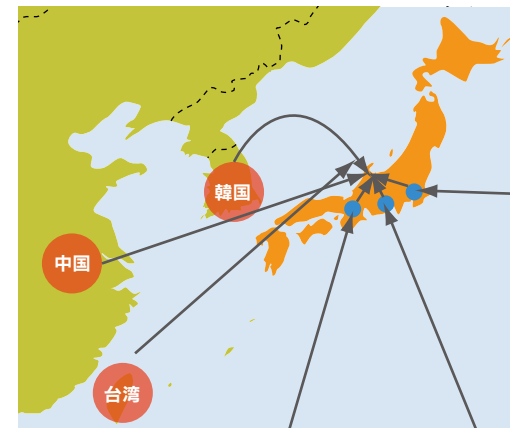


構想の概要

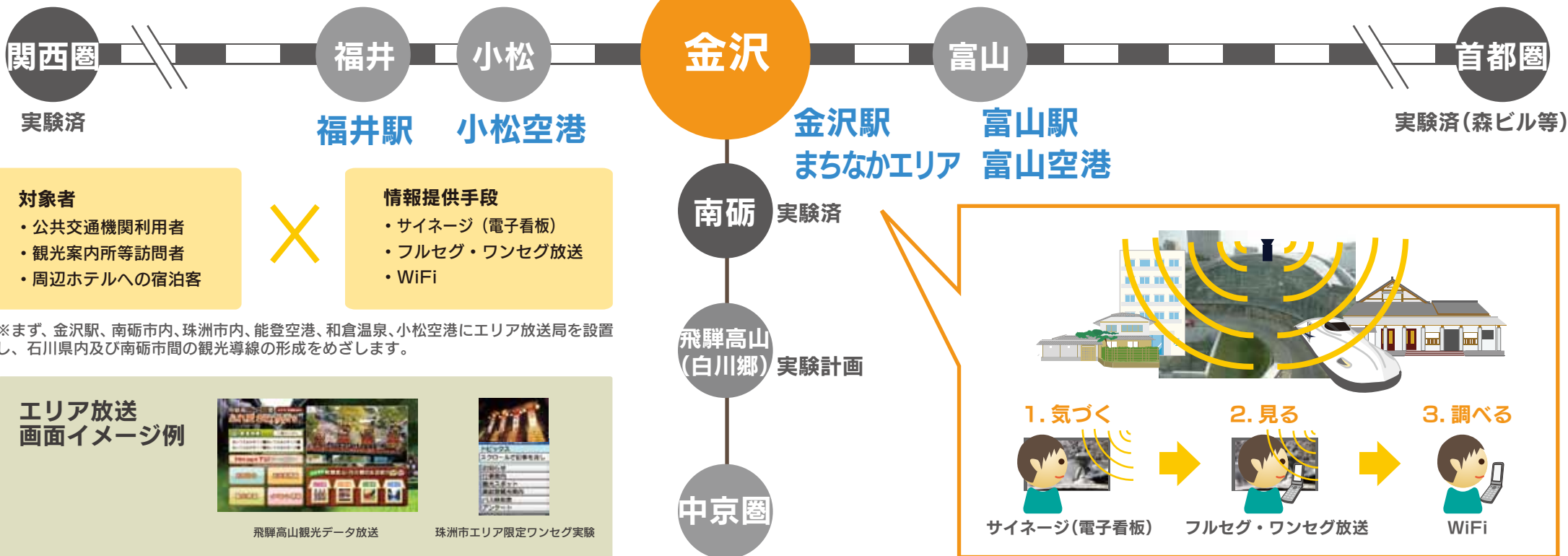
「北陸広域観光チャンネルネット構想」は、2014年度開業予定の北陸新幹線の開通を見据え、北陸観光の玄関口（ポータル）や域内の観光導線の結節点（HUB）となる場所（例えば、駅や空港等及びその周辺の観光案内施設、宿泊施設等）に、エリア放送、サイネージ（電子看板）、WiFi等多様な情報発信の拠点を整備し、相互にネットワーク化するとともに、相互の観光情報コンテンツの有機的な連動を促すことにより、広域観光連携による北陸域内での観光客の周遊性・回遊性の向上と広域観光ブランドの形成をめざす構想です。

駅や空港等に設置されたエリア放送局から半径数百mの受信範囲内にある公共交通機関利用者、観光案内所訪問者、周辺ホテルへの宿泊客に対して、サイネージ（電子看板）により「気づき」を与え、フルセグ放送（ホテルの部屋にある一般のテレビ）やワンセグ放送（携帯電話・スマホ等）により「視聴」を促します。さらに、インターネットでも視聴できるようにし、WiFi（携帯電話・スマホ等）による「検索」を促します。



世界中から観光客を誘導・誘致（※将来構想）

北陸への観光導線の結節点（HUB）の全国への展開（※将来構想）



対象者

- 公共交通機関利用者
- 観光案内所等訪問者
- 周辺ホテルへの宿泊客



情報提供手段

- サイネージ（電子看板）
- フルセグ・ワンセグ放送
- WiFi

※まず、金沢駅、南砺市内、珠洲市内、能登空港、和倉温泉、小松空港にエリア放送局を設置し、石川県内及び南砺市間の観光導線の形成をめざします。

エリア放送画面イメージ例



飛騨高山観光データ放送



珠洲市エリア限定ワンセグ実験

